

包括的・継続的 ケアマネジメント

ほ う か っ 与謝野町 包括 支援センター 地 域 図 福祉課 ☎ 43-9021

高齢者が尊厳あるその人らしい生活を続けられるように、医師、薬剤師、看護師、リハビリ職、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、保健師の専門職を交えた多職種視点から事例の検討・提案を行い、高齢者の課題解決や調整を行っています。具体的な取り組みとして「地域ケア個別会議」と「地域ケア推進会議」の2つがあります。

1 / 地域ケア個別会議

地域ケア個別会議で支援への課題に挙げた内容の多くは、
 ■ 本人、家族がサービスの利用を望まねず、支援につながらない
 ■ 独居高齢者の支援において、家族が遠方に住む等の理由により協力が得られず支援につながらない
 といった内容です。この背景には、高齢者単身世帯や高齢者のみの世帯が増加していることが挙げられます。家族の介護力が



地域ケア個別会議の様子

高齢者のみの世帯が増加し家族の介護力が弱くなりつつある中、 地域で高齢者を見守る体制づくりが重要

弱くなりつつある中、地域の高齢者を家族や介護保険制度だけでなく、地域住民で見守るといふ体制づくりが重要になると、会議で共有しています。

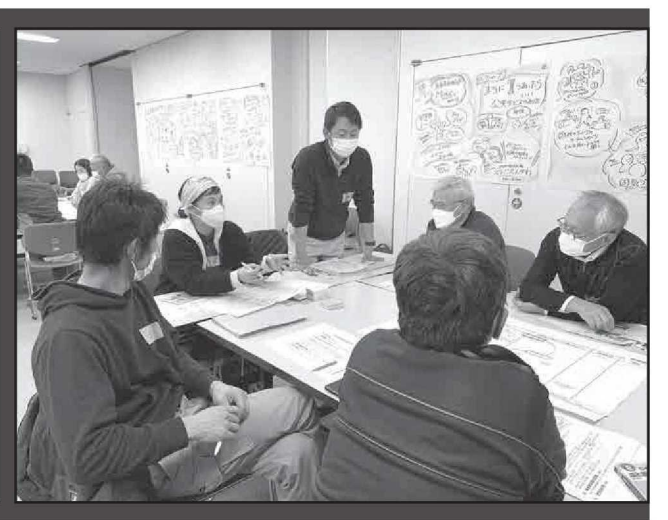
2 / 地域ケア推進会議

地域ケア個別会議で取り上げられた課題を医療、介護の専門職をはじめ、地域の多様な関係者と共有しながら地域づくりや地域の資源開発などにつなげていく会議です。地域の関係機関とネットワーク作りを行い、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域におけるサービスや制度などを幅広く活用し、さまざまな方面から高齢者の生活を総合的に支える仕組み作りを担い、支援を行っています。

今年度は、地域ケア個別会議を8回、地域ケア推進会議を2回開催予定としており、コロナ禍でもオンライン会議を活用し、多くの方々に参加していただきながら、高齢者がこれからも自宅で安心して暮らせるための地域づくりに向けて取り組んでいます。

地域包括支援センターは、医療・介護の連携をサポートする窓口です。今月は、支援内容の一つ「包括的・継続的ケアマネジメント」について紹介します。

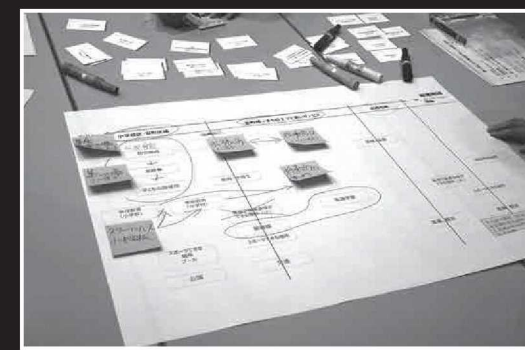
- 行政窓口は町に1つに集約（行政機能の集約化には地域交通の利便性の向上と手続きのオンライン化が大前提）。
- 行政機能だけでなく、民間の商業施設等との複合的な施設にするなど、人が集まる施設の整備を進める。
- 子どもの遊び場や地域コミュニティの拠点は、地域に残す。
- 魅力的な施設が点在しており、線をつなぐと新たな価値が生まれる可能性が大いにある。行政と民間が協働して、今ある施設に磨きをかけ、人やお金が還流する仕掛けを作る。
- 地区公民館に防災拠点や図書館機能などの機能を付加。



岩滝地域 令和3年12月10日開催

各グループの主な意見


- 行政窓口の集約（オンライン申請、出張相談などでフォローアップ）。
- 民間の力も活用した地区公民館の充実（役場窓口の出張所、高齢者や子どもの集まる場所などサービスの複合化）。
- 小中学校は将来的に集約（町内の子どもが極端に減少した場合）。
- 民間の力も活用した文化的施設の複合化。
- 阿蘇シーサイドパークに道の駅やカフェなどの商業施設を複合化（公設民営）。
- 全体を通じて個人情報扱うサービス以外の部分については、民間の力を活用していく余地がある。



- 行政窓口の集約（オンライン申請、出張相談などでフォローアップ）。
- 民間の力も活用した地区公民館の充実（役場窓口の出張所、高齢者や子どもの集まる場所などサービスの複合化）。
- 小中学校は将来的に集約（町内の子どもが極端に減少した場合）。
- 民間の力も活用した文化的施設の複合化。
- 阿蘇シーサイドパークに道の駅やカフェなどの商業施設を複合化（公設民営）。
- 全体を通じて個人情報扱うサービス以外の部分については、民間の力を活用していく余地がある。

- 行政窓口の利便性の向上（コンビニやオンライン等の活用）。
- 交通の利便性の向上（採算の取れそうな地域は民間が運営、難しい地域は行政が運営）。
- 防災拠点運営における民間や住民の参入。
- 多世代間交流施設の充実（公民館等を活用し、高齢者から子どもまでの世代がコミュニケーションをとれるだけでなく、働けるような施設にすることで、住民にとっての居場所兼収入を得られる場所となる）。
- 学校の図書館の蔵書が古く更新されていない。多世代間交流施設に機能を統合してはどうか。他にも運動できるスペースや公園などもあれば利用者も増える。

- 庁舎の一本化（窓口に係るコストを削減。サービスを下げないようコンビニやオンラインを活用）。
- 総合的な複合施設の設置（図書館や子育て支援センターなどを集約し、集客が見込める利便性のよい施設へ）。
- 医療関係施設の集約。
- 小中学校の集約（子どもの人口が減少した場合）。
- 就学前施設の民営化（旧町で各1施設へ）。
- 子どもの居場所づくり（公園を大きさにわけて活用方法を見直す）。
- 人口増加を目指す（施設の統廃合や合理化と並行して、人口増加のための取り組みを実施）。

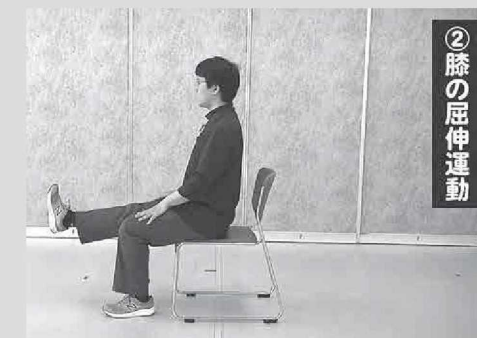


ご存知ですか？
毎朝 8時から健康体操などの番組を放送しています

CATVセンターでは、コロナ禍で外出する機会が減少している中、運動不足解消や認知症予防向けの体操番組などを放送しています。

番組では、国保診療所の理学療法士による体操のほか、町内の団体から提供を受けた体操なども放映しています。どの体操も自宅で簡単にできる内容となっていますので、ご覧いただき、運動不足解消、認知症予防に取り組んでみてはいかがでしょうか。

■ 放送日時 毎日 午前8時～9時



理学療法士による体操番組の様子

ご意見・ご感想・ご提案は、いつでもお寄せください

よさの地域デザイン会議委員でなくても、本件についてご意見などを受け付けています。いただいたご意見などは、よさの地域デザイン会議で共有します。

受付方法

住所・氏名・年齢・性別をご記入いただき以下のいずれかの方法で、企画財政課までお届けください。

【メール】 kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp

【ファックス】 46-2851

【郵送】 〒629-2292 与謝野町字岩滝1798番地1



町公式HP
デザイン会議ページ